

## 2015国際教養科 NEWS 4月

### 第17期生 ご入学おめでとうございます(4/4)

国際教養科に入学された新入生の皆さん、そして保護者の皆様ご入学おめでとうございます。本年度は男子9名女子32名の合計41名のエネルギッシュな生徒さんをお迎えしました。3年間、勉学・班活動・国際交流に積極的に参加し、充実した高校生活になることを願っております。

### フランス短期留学 無事帰国しました(3/14~4/5)

国際教養科3年の宮尾優惟さんが仏高等学校ネットワーク(COLIBRI)短期交換留学により、フランスのパリにある高校(Lycée La Fontaine)へ3週間留学生として登校し、昨年10月に来日した生徒の家でホームステイしました。

〈宮尾さんより コリブリ短期留学プログラムについて〉

お互いの家を行き来することで、相手の文化や生活様式をより深く知ることができた。また、自分の派遣先が3週間日本で一緒に過ごした相手の家というのはとても安心感があった。派遣時は、高校でも家でもホストの相手と一緒にするのはとても心強かったし、普段のフランス人の生活が体験でき、とても素敵なプログラムだと思った。

### 第2外国語(中・韓(朝)・独・仏)がスタート(4/14)

本校の国際教養科では、1,2年の生徒が第1外国語としての英語の他に、第2外国語として、中国語・韓国朝鮮語(ハングル語)・ドイツ語・フランス語の中から1つを選択し、週に1回(毎週火曜日、65分授業)学んでいます。1年次に選択した言語を継続して2年間学習しますが、中には興味や関心があって、検定試験を受けてみたり、短期研修で中国、韓国、フランス、ドイツなどに出かけたりする生徒もいます。また、卒業後も大学で第2外国語を専門に学ぶ進路を考える生徒もいます。

さらに、地元の箱清水地区の方々からも、第2外国語の学習をご希望される方を募集し、生徒とともに授業を受けていただいています。今年はそういった社会人の方が8名おられます。

## 長野マラソン ボランティア活動(4/18・19)

暖かい日差しの中、今年も「長野オリンピック記念長野マラソン」が開催され、ゴール地点(南長野運動公園)のマラソンタウンにおいて、国際教養科1年生全員が長野県観光部国際課や JICA のスタッフの皆さんとともに、ブース運営に参加しました。長野県国際化協会のサンタ・プロジェクトのお手伝いでは、外国籍児童就学支援募金活動に参加し、大勢の方々にご協力いただきました。



入学したばかりの国際教養科1年生たちは、今年もとても明るく元気です。

長野県国際化協会のサンタ・プロジェクトの募金活動

長野マラソンの国際教養科ブースに参加しなかったら経験できないことがありました。私たちはブースの中だけでなく周辺に“出張クイズ！”をしに出かけました。だから、自分から知らない、通りすがりの人に話しかけなければなりません。私はそういうことが苦手で、はじめは一緒につきそってもらった人に話しかけてもらい、それに一言二言を付け加える、という感じでした。でも、段々と、自分から話していけるようになりました。知らない人と話すことはとても勇気がいると思っていたけど、一度やってみるとそうではないんだな、とわかりました。その中で、なかなか経験できない経験をしました。それは、初対面の外国の方と話すことです。日本人なら積極的に話せるようになった中でしたが、外国の方では、どっと緊張してしまいました。また、伝えたいことが伝えられないというもどかしさも感じました。これからはこの感じたことを忘れず、伝えたいことが伝えられるよう、いろいろな単語、文法を覚えていきたいなと思いました。

国際教養科2年生9名、普通科3名もビックハットで、外国人選手受付のボランティアに参加し、受付の仕事に励みました。



## 台湾高校生との交流(4/20)

台北市明倫高級中学の生徒28名が通訳の方を伴い、本校を訪問しました。授業では、国際教養科生徒の1～3年と普通科の1年生が交流しました。1年の英語の授業では、同じ漢字で台湾と日本では意味が異なることをグループごとに英語を使ってお互いに聞きました。班活動交流では、茶道・剣道・琴・書道などの日本の文化を体験してもらいました。

内容	活動等	備考
I 歓迎セレモニー	(1)開会の言葉 (2)歓迎の挨拶 (3)訪日旅行団代表挨拶 (4)阿部長野県知事メッセージ (5)記念品交換 (6)生徒代表歓迎のことば (7)訪日旅行団生徒代表挨拶 (8)訪日旅行団パフォーマンス(歌) (9)国際教養科1年パフォーマンス(歌) (10)長野西高校紹介ビデオ (11)閉会の言葉	国際教養科1年参加
II 昼食交流		国際教養科2年
III 第4時限 (授業交流)	1年普通科 コミュニケーション英語 交流	台湾学生は3クラスに分かれて各教室で交流
IV 第5時限 (授業交流)	国際教養科3年 体育授業参加 卓球、ニュースポーツ、バドミントンに分かれる	グループに分かれて授業参加
V 班活動参加	茶道、剣道、邦楽、書道に分かれて体験	国際教養科2年ボランティア案内

### 学級日誌より

今日は、コミュニケーション英語の時間に、台湾の高校生とふれあう授業がありました。自己紹介をしたり、質問をしたりしました。私の英語はあまり通じないし、英文を作るのが難しくて、英語の実力のなさを痛感しました。英語をもっとがんばりたいです。すごくよい機会でした。

国際教養科1年生と台北市明倫高級中学の生徒



国際教養科3年 体育授業交流



## 4月英語合宿(4/25~26)

1泊2日で、本校の1年生(国際教養科1年41名、普通科1年4名)の合計45名が、長野市の小小学園(長野教育センター飯綱高原山の家)にて、英語合宿を行いました。この2日間は、日本語厳禁、Only English のルールで、全12時間を超える授業を含め、英語漬けのハードなスケジュールでしたが、積極的に英語を使って頑張っていました。講師は、日本外国語専門学校の3名の native の先生にお願いし、ご指導いただきましたが、エネルギーに、陽気に、優しく生徒と接していただき、コミュニケーションに努めていただきました。

この英語合宿を通して、生徒が英語を聞いたり、話したりする力が向上し、また、ポスター・プレゼンテーションの発表では、創意工夫があり、ユニークで個性あふれるすばらしい発表となりました。保護者の方々にもたくさんご参観いただき、入学したばかりの生徒たちが、充実した高校生活をスタートできていることを感じていただけたことと思います。仲間と協力しながら、英語で表現することの楽しさをお互いに共有できたことも大きな意義があったと思います。



〈参加生徒によるアンケート集計結果より〉

1. 参加して良かったか <良 5 4 3 2 1 悪>  
41名 3名

2. 伸びた力は何か

- ・native の方の話はなかなか聞きとりづらかったのですが、慣れるにつれてわからないことばが減り、聞きとることができるようになりました。(4)
- ・自分から積極的に話すことが苦手だったけど、少し克服できました。
- ・前より英語を話すとき、単語をすぐ頭の中から出せるようになった。
- ・native speaker の先生の英語をだんだんと聞き分けられるようになり、自分の伝えたいことも伝えられるようになった。
- ・ただ話したりするのではなく、ジェスチャーをつけたり相手にどうすれば内容を伝えることができるか考える力と伝える力が身につきました。(2)
- ・他者とのコミュニケーションを積極的にとれるようになった。
- ・イギリス英語が良く聞きとれるようになった。

3. 全体を通じての感想

- ・合宿前は、ずっと英語を話さなくてはならないと、不安でしたが、実際にやってみると楽しくて「やってみるものだ！」と思いました。
- ・最初は、「英語合宿なんて、緊張するな、嫌だなあ」と思っていたのですが、参加してみて、とても楽しかったです!!!
- ・この合宿を通して自分に足りない所が見えた。また、初めてクラスメイトの英語を聞き、焦りを感じた。改めて自分の英語を振り返る良い機会になった。
- ・英語をもっと勉強したいと思った。それはみんなの英語に対する姿勢の強さを感じられたり、あらためて外国の方に伝えることの難しさを感じられたりしたからです。
- ・自分の英語力のなさを実感し、これからの原動力になった。
- ・自分の未熟さをひしと感じた。でも、話すことに対する抵抗は小さくなったと思う。
- ・English Communication Skills の授業やプレゼンの授業は、とても自分のためになった。
- ・本当に充実した時間だった。密度の濃い、ネイティブとの授業はとてもよかった。
- ・native speaker と積極的に話せるようになった！なめらかな流ちょうな英語に近づけた気がした！
- ・全然、苦じゃなかった。英語により好感を持たた。
- ・2日間がとても短く感じた。少人数での授業で、英語で話すことの楽しさをたくさん感じる事ができた。
- ・1日英語ではなすことがなかったので貴重な体験だったし、ネイティブスピーカーの人とそれもイギリス英語の人とはなすことができよかったです。



ポスター・プレゼンテーションの発表



最後にみんなそろって集合写真

## 英語で善光寺案内 御開帳ガイドボランティア(4/26)

昨年度の2・3年生が作成した英語版ガイドブックを活用し、善光寺御開帳にて午前・午後の部に分かれてグループ4名で行動を共にし、通訳ガイドボランティアのフィールドワークを実施しました。本校国際教養科2年に加え、長野吉田高校、清泉女学院高校、長野東高校、連携事業をしている西部中学校の希望者を交えて、総勢64名で六地蔵・観光案内所周辺を中心に海外からの観光客の方々に英語で通訳ガイドをしました。

善光寺周辺は多くの参拝者が訪れていましたが、予想していたほど海外からの観光客は来ていませんでした。それでも生徒達は、外国人観光客を見つけると積極的に話しかけ、相手のことを考えて伝えるように心がけていました。集計した結果、18カ国の方にインタビュー及びガイドをすることができたようです。(中国、オーストラリア、アメリカ、ブラジル、イギリス、カナダ、インド、台湾、スペイン、タイ、インドネシア、イスラエル、コロンビア、ベルギー、シンガポール、ドバイ、ウズベキスタン、ボスニア・ヘルツェゴビナ)善光寺は世界中から参拝客を集めているということをもっと知ることができました。

### 〈生徒からの感想〉

一方的に話さずに相手から知りたいことをきいてから説明するよう工夫した。

ジェスチャーを使ったり、なるべく簡潔な英語で話したりするのが大切だと思いました。

もっと英語を勉強するだけでなく、日本や長野のことも知ろうと思った。



## ドイツ研修選考合格！

国際教養科3年矢口基士くんが、今年度のドイツ連邦共和国政府による高校生招聘事業の国内選考に合格し、日本代表5名のうちの1人として8月上旬から4週間、ドイツに短期留学することになりました。

Gute Reise! (= 行ってらっしゃい!)